

2026（令和8）年4月入学

山口大学大学院医学系研究科
保健学専攻（博士後期課程）

学 生 募 集 要 項



YAMAGUCHI UNIVERSITY

山 口 大 学

※現在、本学大学院に在学している学生で進学を希望する場合はこの募集要項のほかに医学部学務課より「進学要項」を取り寄せてください。

山口大学大学院医学系研究科博士後期課程保健学専攻の アドミッション・ポリシー（AP）

山口大学大学院医学系研究科博士後期課程保健学専攻では、地域保健・医療行政を担うことができる、すなわち地域医療の実践の場や、国・県・市町村の保健行政を担うことができる管理・運営能力のある人材、さらに専門領域の研究を深め、専門分野の学問の体系化に貢献できる教育研究者の育成を目指します。そのために次のような学生の入学を求めています。

求める学生像

- 〔1〕保健・医療の分野において、国際的水準の教育・研究に携わる意欲と資質を持つ人
- 〔2〕保健・医療機関において、指導的立場で、研究、調査ならびに研修の実施に携わる意欲と資質を持つ人
- 〔3〕保健・医療の分野において、研究に基づく国際的な活動をリードする意欲と資質を持つ人

入学者選抜の基本方針

山口大学大学院医学系研究科博士後期課程保健学専攻の教育を受けるにふさわしい能力・適性を備えた入学者を受け入れるために、博士後期課程保健学専攻が求める能力・適性を多面的・総合的に評価し、選抜します。

一般選抜では学力検査「英語」、「専門分野に関わる小論文」、面接（修士論文または研究業績調書、研究（希望）計画書及び専門分野に関する口頭試問を含む）及び提出書類を総合して判定します。

社会人特別選抜では学力検査「英語」、「実務経験に基づいた小論文」、面接（修士論文または研究業績調書、研究（希望）計画書に関する口頭試問を含む）及び提出書類を総合して判定します。

外国人留学生特別選抜では学力検査「英語」、「小論文」、面接（語学試験を含む）及び提出書類を総合して判定します。

入学試験で重視するポイント

選抜内容	高度な理論的・実践的研究を遂行するために必要な知識、技能	研究成果を実践の場で応用・展開できる能力	豊かな人間性と高度な倫理性、社会性を兼ね備
学力検査	◎	○	
面接	◎	○	○
出願書類			

◎：強く重視して評価する ○：重視して評価する

目 次

学生募集要項

I	入学者選抜の概要	1
II	教育・研究領域及び募集人員	1
III	出願資格	1
IV	出願手続	1
V	選抜方法等	3
VI	合格発表	4
VII	入学手続	4
VIII	その他	4
IX	注意事項	4
X	出願資格の認定	5

博士後期課程の概要

I	教育目的と特色	7
II	教育方法の特例（大学院設置基準第14条）について	9
III	入学案内	10
IV	授業科目一覧	14
V	特別研究指導教員研究テーマ一覧	15

学 生 募 集 要 項

看護学領域

一般選抜，社会人特別選抜

生体情報検査学領域

一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜

I 入学者選抜の概要

1. 選抜試験の実施

入学者選抜試験は、2026（令和8）年4月入学志願者を対象に実施します。

2. 入試日程

区 分	日 程 等
出願資格事前審査申請受付期間	2025(令和7)年6月4日(水)～2025(令和7)年6月10日(火)
出 願 期 間	2025(令和7)年7月9日(水)～2025(令和7)年7月16日(水)
選 抜 期 日	2025(令和7)年9月11日(木)
合 格 発 表 日	2025(令和7)年10月9日(木)
入 学 手 続 期 間	2025(令和7)年10月27日(月)～2025(令和7)年10月31日(金)

※入試に係る日程及び詳細については、各項目にて必ず確認してください。

II 教育・研究領域及び募集人員

博士後期課程

専 攻	教育・研究領域	募集人員	備 考
保健学専攻	看護学領域	5 名	募集人員には、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜（生体情報検査学領域のみ）及び進学の募集人員を含みます。
	生体情報検査学領域		

III 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者としてします。

1. 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2026（令和8）年3月末までに取得見込みの者
2. 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026（令和8）年3月末までに取得見込みの者
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026（令和8）年3月末までに取得見込みの者
4. 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026（令和8）年3月末までに取得見込みの者
5. 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2026（令和8）年3月末までに取得見込みの者

※6. 文部科学大臣の指定した者（1989（平成元）年9月1日文部省告示第118号）

※7. 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026（令和8）年3月末までに24歳に達する者

※ 上記、出願資格6及び7に該当する志願者は、出願に先立ち出願資格の事前審査を行いますので、5ページを参照して申請してください。

※ 外国の学校教育による出願資格で申請を行う場合には、確認に時間を要する場合がありますので、事前に医学部学務課へ確認をしてください。

IV 出 願 手 続

1. 出願期間

2025(令和7)年7月9日(水) ～ 2025(令和7)年7月16日(水) 《17時15分必着》

(1) 持参する場合は、8時30分から17時15分まで受け付けます。

重要

(2) 出願希望者は、出願前なるべく早い時期に16～19ページのV特別研究指導教員研究テーマ一覧より、希望する教育研究分野の指導教員を決め、事前に相談をしてください。

ただし、指導教員を決定できない場合は下記教員に相談してください。

連絡先 山口大学大学院医学系研究科

看護学領域 伊東教授 0836-22-2821

生体情報検査学領域 野島教授 0836-22-2824

2. 出願書類等

① 入学志願票	本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。
② 受験票・写真票	本研究科所定の用紙に必要事項を記入し、写真（出願前3か月以内に撮影、上半身・無帽・正面向き、縦4cm×横3cm）を貼り付けてください。
③ 修了（見込）証明書	出身大学長（研究科長）が作成した修士課程の修了（見込）証明書。（出願資格6及び7に該当する者は不要） 外国人留学生特別選抜の志願者は成績証明書(写)、写真証明書(写)。
④ 受験承諾書	社会人については、勤務先の所属長(又はこれに準ずる者)の受験承諾書。（本募集要項にとじ込み）
⑤ 修士論文等 研究経過報告書 研究業績調書	（いずれも本募集要項にとじ込み） ◎修士課程修了見込みの者は、「研究経過報告書」（1,000字（外国人留学生で英文で記載する場合300words）程度）及び「研究業績調書（その2）」を作成し提出してください。 ◎修士の学位を有する者は、修士論文のコピー、「修士論文の概要」（1,000字（外国人留学生で英文で記載する場合300words）程度）及び「研究業績調書（その2）」を作成し提出してください。ただし、修士論文なしに学位を得た者は修士論文のコピーに代えて「研究業績調書（その1）」を提出してください。（出願資格6及び7に該当する者は不要）
⑥ 研究（希望）計画書	研究を希望するテーマあるいは分野について、その目的及び構想を、研究指導を希望する教員と相談の上、本研究科の所定の用紙（本募集要項にとじ込み）に、700字（外国人留学生で英文で記載する場合200words）程度で記入してください。
⑦ 検 定 料	30,000円 本研究科所定の払込用紙（本募集要項にとじ込み）に、必要事項を記入のうえ郵便局で本学指定の口座に払い込んだ後、郵便局から受け取った郵便振替払込受付証明書を所定欄に貼り付けてください。 なお、納入された検定料は次項5の検定料を返還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
⑧ あ て 名 票	合格通知等に使用しますので、通知先の郵便番号・住所・氏名を記入してください。（本募集要項にとじ込み）
⑨ 在留カード(写) （該当者のみ）	日本に在住する外国籍の志願者は、在留カードの写し(両面を複写)を提出してください。 出願時に日本国内に在籍していないものは、受験のために有効な査証(写)を提出してください。
そ の 他 （該当者のみ）	語学力を証明する資料（日本語能力試験、TOEFL等）があることが望ましい。

※ ここで言う社会人とは、医療、保健、福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等に勤務している研究者、教育者又は技術者をいいます。

※各資格について、「見込み」で受験し合格した場合には入学手続きの際に、確定した該当の証明書等を提出すること。（例：卒業見込みの場合は卒業証明書）入学手続き時にはまだ発行されない場合には、発行後速やかに提出すること。提出が無い場合には入学を取り消すことがあります。

出願書類等については、入学者選抜において必要なため提出いただくものであり、これによって得た個人情報等を、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

3. 出願方法

- (1) 入学志願者は、出願書類等を取りそろえ、下記「4. 出願書類等提出先」へ提出してください。
- (2) 出願書類を郵送する場合は、「速達書留」とし、封筒の表に「保健学専攻（博士後期課程）出願書類在中」と朱書してください。

4. 出願書類等提出先

山口大学医学部学務課保健学科教務係

〒755-8505 宇部市南小串1丁目1-1

電話 (0836) 22-2058

5. 検定料の返還について

- (1) 次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。
 - ① 検定料を納入済みであるが山口大学に出願しなかった場合
 - ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
 - ③ 出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合
- (2) 返還請求の方法
上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。連絡があった後に「検定料払戻請求書」を送付しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。
また、上記③の場合は、出願書類返却の際に「検定料払戻請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先	国立大学法人 山口大学財務部財務課 〒753-8511 山口市吉田1677-1 電話 (083) 933-5098
-----	---

V 選 抜 方 法 等

1. 選抜方法

- (1) 一般選抜
学力検査「英語」、「専門分野に関わる小論文」、面接（修士論文または研究業績調書、研究（希望）計画書及び専門分野に関する口頭試問を含む）及び提出書類を総合して判定します。
- (2) 社会人特別選抜
学力検査「英語」、「実務経験に基づいた小論文」、面接（修士論文または研究業績調書及び研究（希望）計画書に関する口頭試問を含む）及び提出書類を総合して判定します。
- (3) 外国人留学生特別選抜
学力検査「英語」、「小論文」、面接（語学試験を含む）及び提出書類を総合して判定します。

2. 学力検査等の日時

試 験 日	時 間	試 験 科 目	備 考
2025(令和7)年9月11日(木)	9:00 ~	面 接	※受験者数により、英語、小論文の開始時刻を早める場合があります。
	12:30 ~ 14:00	英 語	
	14:30 ~ 16:00	小 論 文	

※ 英語は、辞書（1冊）の持ち込みを可とします。なお、電子辞書の持ち込みは許可しません。

3. 試 験 場

山口大学医学部

宇部市南小串1丁目1-1

Ⅵ 合 格 発 表

2025（令和7）年10月9日（木）10時

医学部実習棟A（学務課）玄関に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に合格通知書を送付します。

なお、電話その他による合・否の問い合わせには一切応じません。

Ⅶ 入 学 手 続

1. 入学手続期間

2025（令和7）年10月27日（月）～ 2025（令和7）年10月31日（金）《17時15分 必着》

2. 入学手続場所

山口大学医学部学務課保健学科教務係

〒755-8505 宇部市南小串1丁目1-1 電話（0836）22-2058

3. 入学時に要する経費

入学料（入学手続時納付） 282,000円（予定額）

授業料（入学後納付） 前期分 267,900円（予定額）

後期分 267,900円（予定額）

- (1) 本募集要項公表後、2026（令和8）年4月入学者に係る入学料、授業料の改定を本学として決定した場合は、改定後の額となります。また、既に納入されていた場合は改定額との差額を納入していただくこととなります。
- (2) 在学中の授業料の納付は、入学手続時に郵便局へ提出する授業料口座振替依頼書（入学手続書類とともに郵送します。）に基づき、前期分は5月末日、後期分は11月末日（末日が土・日の場合は、その前の平日）に郵便局の学生（又は学資負担者）名義の貯金口座から自動的に引き落とし大学に納付することとなります。引落日の前日までに必ず入金しておいてください。
- (3) 在学中に授業料改定を行った場合、新授業料を適用します。
- (4) 入学手続を行った者が入学を辞退したときは、納付済の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

Ⅷ そ の 他

1. 障害のある入学志願者で、受験及び修学上特別な措置を希望する者は、出願に先立ち、受験及び修学上希望する具体的措置を記載した相談書（様式任意）をⅣの「4. 出願書類等提出先」へ2025（令和7）年6月12日（木）までに提出のうえ、相談してください。
2. 入学料及び授業料の納付が著しく困難な者に対しては、それぞれ免除する制度があります。詳細は本募集要項13頁または本研究科ホームページをご確認ください。この制度により、入学料及び授業料の免除を希望する者は、下記へ問い合わせください。

山口大学医学部学務課教育・学生支援係

〒755-8505 宇部市南小串1丁目1-1 電話（0836）22-2099

Ⅸ 注 意 事 項

1. 試験についての諸注意は、受験票とともに送付します。
2. 受験の際は、受験票を必ず携行してください。
3. 出願書類提出後は内容の変更を認めません。
4. 入学試験に関する照会は、Ⅳの「4. 出願書類等提出先」にお問い合わせください。
5. 入学手続完了後、特別の事情により本選抜に係る出願資格を欠く事態が生じた場合は、入学取り消しとなります。
6. 大学構内への駐車は禁止しますので、公共交通機関をご利用ください。

X 出願資格の認定

出願資格6の「文部科学大臣の指定した者」とは、次のとおりです。

- 一 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、学術論文、学術講演、特許など修士論文と同等以上に評価されると認められる研究業績を有するもので、かつ、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- 二 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

出願資格7に定める「本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026（令和8）年3月末までに24歳に達する者」とは、一例として次のとおりです。

短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者で卒業（修了）後4年以上教育分野及び科学技術分野に携わり、学術論文、学術講演、特許など修士論文と同等以上に評価されると認められる研究業績を有する者で、かつ、本研究科の入学試験出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で入学時に24歳に達した者。

1. **出願資格6**及び**出願資格7**の事前審査に必要な書類等は次のとおりです。

- (1) 入学試験出願資格認定申請書（本研究科所定の用紙）
- (2) 卒業証明書（出身学校等が作成したもの）
- (3) 研究業績調書（その1）、（その2）（本研究科所定の用紙）
- (4) 研究業績調書（その2）に掲げた学術論文等の別刷り又はコピー（主要なもの10編以内）
- (5) 研究従事証明書（研究に従事したことのある者）
- (6) 返信用封筒（長形3号に本人の郵便番号・住所・氏名を明記し、84円切手を貼ったもの）

2. 提出期間

2025(令和7)年6月4日(水)～2025(令和7)年6月10日(火)《17時15分 必着》
(郵送の場合は書留とし、封筒表面に「出願資格事前審査申請書在中」と朱書きしてください。)

3. 提出先 山口大学医学部学務課保健学科教務係

4. 結果通知

2025（令和7）年7月8日（火）までに本人宛に通知書を送付します。

5. 出願手続

事前審査で出願資格が認められた者は、この募集要項に基づき、出願手続等を参照して出願してください。

博士後期課程の概要

- I 教育目的と特色
- II 教育方法の特例（大学院設置基準第14条）
について
- III 入学案内
- IV 授業科目一覧
- V 特別研究指導教員研究テーマ一覧

I 教育目的と特色

1. 教育目的

わが国の保健医療ニーズは、急速な少子・高齢化の進展に伴う疾病構造の変化、医療の高度化・地域化、及び国民の医療知識の高揚等に伴い多様化しています。それに伴い国民医療費は高騰し続けています。その中で、あらゆる健康レベルの人々に良質な保健医療サービスを提供し、かつ、適切な医療費負担に抑えることは国民的課題です。このような状況のもと、本学では更に高度の教育課程を提供するために山口大学大学院医学系研究科保健学専攻（博士後期課程）を2007（平成19）年度に設置しました。当課程では、①多様な医療情報を適切に分類・分析でき、洞察力・判断能力を有し保健活動の推進・地域社会の活性化に貢献できる能力、②高度な先進医療の進展に対応し、エビデンスに基づく課題解決・技術開発・理論構築のできる能力、更に③グローバル化社会における医療課題に対応できる国際的な視野、鋭敏な国際感覚を身につけた教育・研究者及び高度専門職業人の指導者を育成します。

2. 各領域の概要と特色

医学系研究科保健学専攻（博士後期課程）は博士前期課程と同様に看護学領域と、生体情報検査学領域の2領域を設けています。本課程では、前期課程の教育理念・教育目標を継承しながらも、深い洞察力、的確な判断能力を養い、国際感覚、鋭敏な感受性、柔軟性を備え、大学・大学院の高次教育を担う教育研究者及び高度専門職業人の指導者として活躍する人材を育成するために必要な科目を設けています。

また、保健学専攻内の研究領域を超えた横断的な教育・研究を可能にし、先進的・実質的な研究能力を培うことをねらいにしています。

更に、県下の医療機関や地域の保健施設等と連携し、地域と密着した教育・研究を行います。

（1）看護学領域

看護学領域は、保健学専攻（博士後期課程）が目指す人材育成を可能にするために、次の5つの研究分野を設けています。

①地域保健看護学

地域保健・地域看護の概念と活動の方法論、施策化へ向けた活動展開の方向性について考察し、更に、それらの基本的要素を踏まえ、精神障害者を含む地域住民の健康問題を科学的根拠に基づいて捉え、地域特性に応じた解決策を見出すための研究を推進する能力開発を目指して指導します。基本となる概念として、健康、QOL、ヘルスプロモーション等を中心に、具体的活動と対応させながら、それらの歴史的背景とともに考察し、更に、住民との協働や自主グループの育成、生活支援、保健事業の評価、保健所と市町村の連携、行政の役割や保健師活動のあり方など、地域保健看護の実践的な課題を研究的な視点で分析し、明確にしていく思考プロセスを構築しながら、その解決に寄与できる教育・研究を行います。

②高度侵襲医療看護学

この分野では、救急看護・がん看護・慢性疾患・神経難病・精神看護学各領域において、複雑な問題を抱える患者と家族を対象とした身体的・精神的看護における理論・看護方法の開発研究を目指します。さらに各領域における身体的ケア、精神的ケア、家族看護、チーム医療、看護管理、医療倫理、看護教育などの各側面から現在のトピックを取り上げ、各専門領域の今後の確立に必要な研究方法論について文献等を用いて理解を深め、看護の視点から教育・研究の指導を行います。

③母子発達・遺伝看護学

この研究分野では母子発達・健康促進と遺伝医療に伴う看護課題について研究開発と指導を行います。

核家族化・少子化・地域の育児力低下等の社会状況において、子どもの発達を支援する看護、育児支援に必要な母親・家族の援助方法及びこの発達期に遭遇しやすい健康問題を解決するための理論と技術を教育・研究します。

また、健全な生殖と性（ヒューマンセクシュアリティ）の育成及び新しい生命の誕生と成育を支援するための理論と技術を教育・研究し、特に乳幼児を抱えた女性の子育て支援や性教育を研究課題に取り上げ、研究方法を指導します。

わが国の遺伝看護学は、遺伝医療が急速に進展しているにもかかわらず、未発達状態であり、この分野の先進国である諸外国の知見に頼り試行錯誤状況であると言わざるを得ません。

この分野では遺伝看護学の発展に寄与するための教育・研究を推進します。

④老年生活機能看護学

高齢者の特性および特性に応じた生活機能向上のための介入方法には未解明な部分が多く、また、高齢者をとりまく家族や地域社会にもさまざまな課題が存在します。本研究分野では、高齢者の身体・心理的特性の解明、また、特性に応じた生活機能向上のための介入効果に関する教育・研究を行います。さらに、家族や地域社会、ケアに携わる専門職が有する課題も取り上げ、看護、介護、理学、作業、栄養、福祉など多角的視点から、高齢者の尊厳を守りQOLの維持・向上を目指す方法を探究します。

⑤基礎看護学

本研究分野では、様々な看護実践や看護現象の中から看護の本質を追求するとともに、看護の本質から看護実践を捉えなおすための教育・研究を行います。看護の役割と機能が拡大する状況においては、あらゆる看護実践を対象化して看護の核となるものの存在を検証する方法が必要となり、その方法論を含めて探究します。その他に、看護実践の卓越性の解明とその形成過程、看護技術や看護教育に関する課題、看護の対象となる人間の病いの体験から生じる苦悩や成長過程に焦点をあてた教育・研究を行います。

(2) 生体情報検査学領域

生体情報検査学領域には、保健学専攻（博士後期課程）が目指す人材育成を可能にするために、次の2つの研究分野を設けています。

①細胞情報応用解析学

疾病病態を正確に把握する技術として、遺伝子工学、タンパク質工学及び細胞工学を基礎として、細胞活動とタンパク質の関連を解析し、個々のタンパク質と細胞・組織（臓器）・疾病との機能連携を研究します。また、新規の解析技術の開発と技術統合により、遺伝子解析を容易にし、日常診療に役立つ検査技術の研究・開発を行います。これらの技術により、広範囲遺伝子欠失、同一遺伝子異常を示す疾患表現型の多様性など様々な関連因子を究明すると共に、分子生物学的な視野から病態を捉える能力を育成・指導します。

正確で、患者負担を軽減できる診断技術の開発として、単一細胞からでも正確に良・悪性、原発臓器の特定、薬剤効果、予後の推定などを可能にする診断技術の研究を行います。

②病態情報解析学

日本はアジアの中でも急速に西欧化し、その結果、高齢化と共に動脈硬化による心疾患、脳血管障害、糖尿病等の生活習慣病が急増し、その合併症予防が極めて重要となっ

ています。また、高次神経障害である認知症、うつ病および感染症などに基づく健康障害の予防・管理の意義も看過できません。疾病の予防・管理には、発症予防・進行防止に資する膨大な医療情報からの有用な因子解析は不可欠であり、疾病病態の究明や正確・簡便な診断技術の開発が求められています。そこで、動脈硬化に基づく生活習慣病の生理系検査を含む発癌・感染症や高次神経障害の正確で簡便な検査技術の開発は、高騰する医療費を抑制するために極めて重要な研究課題です。これらの課題を正確に把握し、独創的な研究計画の立案、実施、解析が実行でき、また目まぐるしく進歩・発展する臨床検査において疾病病態の理解に基づく検査技術の研究・開発や、高度な検査業務支援・診療支援・管理が行えるリーダーの育成を目指します。

医科学者（再生医療・細胞療法）養成コース（博士後期課程）について

医学系研究科保健学専攻博士前期課程では、全国に先駆けて、平成27年度より「再生医療・細胞療法を担う高度な医療専門職の養成コース【臨床培養士（再生医療・細胞療法）養成コース】」を開設しました。この【臨床培養士（再生医療・細胞療法）養成コース】は、臨床検査技師の国家資格を取得した大学院生を対象に、教育機関である保健学専攻生体情報検査学領域と、再生医療・細胞療法を実践する臨床現場である山口大学附属病院、さらには最先端の研究機関である公益財団法人先端医療振興財団細胞療法研究開発センターの3機関が連携して、日本再生医療学会の認定制度を踏まえた教育プログラムを構築し、次世代の医療技術として期待される再生医療・細胞療法を担う高度な医療専門職業人の養成を行っています。

上記コースに引き続いて、博士後期課程において、山口大学附属病院で実施されている培養ヒト骨髄細胞を用いた低侵襲肝臓再生療法（再生医療実現化ハイウエイ）等のプロジェクトを基盤にした実践型教育・研究プログラム【医科学者（再生医療・細胞療法）養成コース】を2017（平成29）年4月に開設し、再生医療・細胞療法の研究シーズや新たな医療技術の開発を担うMedical Scientist（医科学者）の養成を行っています。

Ⅱ 教育方法の特例（大学院設置基準第14条）について

1. 趣 旨

近年の医学・医療技術の進歩により社会は複雑高度化し、医療及び福祉への急速なる変革をもたらしています。大学院にあっては、一層の学術の高度化と総合化、柔軟かつ独創的職業人養成の強化が急務となり、社会人にあっては、最新の医学に対応するための日常的研鑽が必須になってきています。

本研究科では、社会人特別選抜入学者に対して、大学院での学習を容易とするために教育方法の特例（大学院設置基準第14条）を適用した昼夜開講制を導入しています。教育方法の特例（大学院設置基準第14条）を適用した昼夜開講制とは、夜間や特定の時間又は時期に授業・研究指導の時間を設け、社会人に大学院の授業、研究指導をより受け入れ易くする制度です。

2. 教育方法の特例適用による履修及び研究方法

本研究科博士後期課程保健学専攻では、第3年次修了までに14単位以上を修得しなければなりません。

また、履修にあたり、社会人の勤務先における勤務状況を勘案し、課程修了までの履修計画及び博士論文の作成計画等を立て、研究指導計画を作成するものとします。

3. 教育方法の特例を希望する者の手続

あらかじめ指導を希望する教員と協議の上、履修計画等を定め出願してください。

Ⅲ 入 学 案 内

1. 履修方法

次のとおり14単位以上を履修します。

- | | |
|----------------|-------------|
| ○共通科目 | (必修) 4 単位 |
| ○担当指導教員が指定する特講 | (必修) 2 単位以上 |
| ○担当指導教員が指定する演習 | (必修) 2 単位以上 |
| ○特別研究 | (必修) 6 単位 |

2. 大学院長期履修学生制度

本学大学院には、社会人学生等が勤務の都合等で修業年限内に履修できない場合、規定の年限よりも長い期間を設定し計画的に履修することができる長期履修学生制度があります。

職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士後期課程：3年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することが許可された学生（以下「長期履修学生」といい、入学予定者も該当します。）は、認められた一定の期間（以下「長期履修期間」といいます。）において、標準履修年限分の授業料を納めることにより修学することができます。

(1) 申請資格

- ①職業を有する者
- ②育児を行う必要がある者
- ③親族の介護を行う必要がある者
- ④その他特別な理由があると認められた者

(2) 長期履修期間

入学時に認められるのは、次の期間です。

博士後期課程：4年又は5年

(3) 申請手続

長期履修学生となることを希望する入学予定者は、入学手続き時に所定の書類を提出してください。

(4) 必要書類

- ①長期履修学生申請書
- ②在職証明書（職業を有する者に限る）
- ③長期履修研究計画書（授業開始から1週間以内に提出のこと）

(5) 長期履修及び研究計画書について

長期履修期間における履修及び研究計画は、あらかじめ希望する指導教員とよく相談してください。

(6) 可否の認定

提出書類に基づき審査の上、認定の可否を4月下旬までに通知しますので、通知があるまでは、授業料を納付しないように注意してください。

(7) 長期履修学生についての問合せ

山口大学医学部学務課保健学科教務係

〒755-8505 宇部市南小串1丁目1-1

電 話 0836-22-2058

F A X 0836-22-2059

メー ル me233@yamaguchi-u.ac.jp

3. 修了の要件

本研究科保健学専攻（博士後期課程）に3年以上在学して、所定の単位（14単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

ただし、在学期間に関しては、研究科保健学専攻会議が優れた業績を上げたと認める者については、本研究科保健学専攻（博士後期課程）に2年以上在学すれば足りるものとし、ます。

4. 学 位

上記3. 修了の要件を満たし、当該課程を修了した者は、本学学位規則の定めるところにより、博士（保健学）の学位を授与します。

5. 入学料及び授業料の免除

(1) 入学料免除及び徴収猶予

経済的理由によって入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者は本人の申請により選考の上、入学料の全額又は半額を免除若しくは徴収猶予することがあります。

また、入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合など、入学料の納付が困難であると認める者については、本人の申請により選考の上、入学料の全額又は半額を免除若しくは徴収猶予することがあります。

(2) 授業料免除の制度

経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者は本人の申請により選考の上、授業料の全額又は半額を免除することがあります。

また、入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合など、授業料の納付が困難であると認める者については、本人の申請により選考の上、授業料の全額又は半額を免除することがあります。

6. 奨学金制度

人物、学業ともに優れ、かつ健康であり、経済的理由により修学が困難であると認められる者に対して、次の奨学金制度があります。

独立行政法人 日本学生支援機構

① 第一種奨学金（無利子貸与）

博士課程 月額8万円・12万2千円（奨学生の希望により選択）

② 第二種奨学金（有利子貸与）

月額5万円・8万円・10万円・13万円・15万円（奨学生の希望により選択）

7. 学生の災害傷害保険制度

(1) 学生教育研究災害傷害保険または総合補償制度「Will」

大学における教育研究を円滑に進めるため、本学の学生は全員加入となっておりますので下記ご確認の上、いずれかの制度へ手続きをしてください。

○ 学生教育研究災害傷害保険

学生の講義、実験等の正課中及び学校行事中における不慮の災害事故、課外活動中の事故、学校施設内における事故並びに通学中の事故による傷害を救済するために（財）日本国際教育支援協会が行う制度です。

大学における教育研究を円滑に進めるため、本学の学生は全員加入（医学部保健学科の学生を除く。大学院医学系研究科は下記 Will とのいずれか）となっております。

参考：博士前期課程2年間として 1,790円程度，博士後期課程3年間として
2,650円程度

○ 総合補償制度「Will」

総合補償制度「Will」は，医療・福祉系学生さんに必要不可欠な臨地実習中の事故等に対する不安から生まれたオリジナリティの高い補償制度です。

「損害保険+共済制度」により，医療・福祉系養成施設に学ぶ皆様の小さな事故から大きな事故まで広範囲に補償できる仕組みになっています。

「Will」は学生さんご自身の傷害事故に加えて，実習先を含む24時間の賠償事故，さらに学生さんご自身の感染症罹患や二次感染にも対応している医療・福祉系学生さんのために創られた補償制度です。

（事務代行（株）メディックプランニングオフィス，上記案内は Will のホームページから抜粋）

参考：年間 4,500円程度

(2) 学生健康保険組合

学生健康保険組合は、学生が疾病や負傷，歯科での診療を医療機関等で受けたとき、支払った医療費の2分の1を医療給付金として支給するもので，学生の修学目的を達成するための互助共済制度です。

問い合わせ先

山口大学医学部 学務課 教育・学生支援係
TEL：0836－22－2099

個人情報の利用について

本選抜において出願の際に提出いただいた出願書類等で得た個人情報は、本学の入学者選抜に関わる業務のほか下記の業務に利用します。なお、個人情報の保護に関する法律第18条第3項各号及び第27条第1項各号に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

- (1) 合格者の受験番号、住所及び氏名等の個人情報を、入学手続に関わる業務に利用します。
- (2) 入学手続者の受験番号、氏名、性別、生年月日、出身高等学校等の個人情報を学籍管理等の修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務並びに厚生補導に関わる業務に利用します。
- (3) 入学者選抜で取得した入学手続者に関わる成績等の個人情報を、入学料免除、入学料徴収猶予、第1年次における授業料免除及び奨学生採用等の経済支援に関わる業務に利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、統計処理業務及び本学における入学者選抜方法の改善に関わる調査・研究に利用します。
- (5) その他、本法人の定める「学生・保護者等に係る個人情報の取扱いについて」※に従って個人情報を利用します。

※「学生・保護者等に係る個人情報の取扱いについて」は、山口大学のホームページでご覧いただけます。

https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~soumuka/jyouhou/personal/policy/guide_student.html

Ⅳ 授業科目一覧
博士後期課程 保健学専攻

区 分		授 業 科 目 名	単位数	備 考
共 通 科 目	必修	探索的医療情報解析学特講	2	2科目4単位を履修する。
		比較文化保健医療学特講	2	
	自由	ジョブ型研究インターンシップ	2	修了要件単位に含まない。
専 門 科 目	看護学領域科目	基礎看護学特講（後）	2	1. 指導教員が指定する特講2単位、演習2単位の4単位以上を履修する。 2. 特別研究6単位を履修する。
		基礎看護学演習（後）	2	
		地域保健看護学特講	2	
		地域保健看護学演習	2	
		高度侵襲医療看護学特講	2	
		高度侵襲医療看護学演習	2	
		母子発達・遺伝看護学特講	2	
		母子発達・遺伝看護学演習	2	
		老年生活機能看護学特講	2	
		老年生活機能看護学演習	2	
		特 別 研 究	6	
	生体情報検査学領域科目	細胞情報応用解析学特講	2	
		細胞情報応用解析学演習	2	
		病態情報解析学特講	2	
		病態情報解析学演習	2	
		特 別 研 究	6	

V 特別研究指導教員研究テーマ一覧

領域	教 育 研究分野	教員氏名 職名	主 研 究 テ ー マ
看護 学 領 域	基礎看護学	田中愛子 教授 TEL 22-2860 E-mail: aitanaka@	人々の病や死の受容過程、卓越した看護職の看護実践能力と自己教育力、看護実践能力を育み向上させる看護教育方法の検討、対象のQOLを高めるエビデンスに基づく看護援助の開発等に関連する課題について研究支援を行う。 看護課題の絞り込みから、課題解決にむけての研究デザイン、データの収集および分析等、論文作成の一連の研究過程をととして、研究の倫理的態度を身に付けるとともに、自立して研究できる能力を養う。
	基礎看護学	安達圭一郎 教授 TEL22-2802 E-mail: adachi13@	主として、精神疾患・身体疾患と深く関わりのある抑うつ・不安を効果的にアセスメントし早期の段階から介入する技法、並びに、身体疾患の早期発見や健康行動に関連する要因を抽出し介入する技法に焦点を当てつつ、科学的な観点から研究・実践できる高度な能力を養う。
	がん看護学	齊田菜穂子 教授 TEL 22-2855 E-mail: naho@	がん看護分野に関連する研究の動向と課題を取りあげ、研究支援を行う。AYA世代から高齢者の各年代、診断期から終末期までの各期のがん患者のQOL維持・向上への看護援助の開発を行い、がん看護の実践・教育に発展に寄与する看護研究を目指す。
	老年生活機能看護学	古賀道明 教授 TEL 22-2858 E-mail: kogamrk@	神経難病の看護に関する研究を扱う。特に、患者や家族への病名告知や病状説明について、その理解度の現状とその影響を評価することで、看護側から介入の可能性を追及する。
	精神看護学	矢田浩紀 教授 TEL 22-2862 E-mail: yadahiro@	精神看護領域におけるメンタルヘルスの問題、倫理的課題、ステージマなどに焦点を当て、実証的・理論的研究を通じて新たな知見を探究する。本講義では、研究計画の立案、データ収集・分析、論文執筆といった研究の一連のプロセスを実践し、自立した研究能力を養うことを目的とする。これにより、精神看護学の発展に寄与できる人材の育成を目指す。
	母子発達・遺伝看護学	村上京子 教授 TEL 22-2820 E-mail: k.mura@	看護実践、博士前期課程で修得した知識・能力を基盤とし、特講・演習における学習をもとに、母子看護領域、遺伝看護領域における実践的な看護研究を自立して行える能力、および専門職の協働でマネジメント能力を発揮できる人材を育成する。 特に、小児看護学において先天異常、または病気を持ちながら成長していく子どもとそれを取り巻く家族の心理・生活援助に関する看護研究に焦点を当てる。これらの看護研究について研究デザインの選定、実践、データ解析、考察など一連の研究過程について自立性を養うことができるように指導を行う。
	母子発達・遺伝看護学	伊東美佐江 教授 TEL 22-2821 E-mail: m-ito@	自分の研究課題を特定し、研究課題を解決する方法を見出し、研究成果を社会に貢献できる人材を育成する。特に、母子看護学領域、ウィメンズヘルス、意思決定支援を中心として、看護倫理学、看護教育学、国際看護学など多角的な視点から、探究する研究課題を設定し、研究を遂行するために必要な理論や概念、開発に必要な手法の習得および論文作成の手法を学び、研究能力を発展させる。さらに、一連の研究プロセスを通じて、研究成果が学問的理論構築を推進し、学問の発展に貢献する高度実践者・研究者・教育者の養成を目的にしている。
	母子発達・遺伝看護学	亀崎明子 准教授 TEL 22-2829 E-mail: kamezaki@	女性のライフサイクルにおける問題やヘルスプロモーションに関する研究など助産学領域におけるテーマについて指導する。国内外の研究を講読して新たな研究課題を見出し、科学的観点から研究を遂行し、助産学の発展に寄与できる高度な能力を養う。
	老年生活機能看護学	永田千鶴 教授 TEL 22-2830 E-mail: nagata@	「Aging in place（今いる場所で最期まで）」の実現を目的とした認知症予防や看取り、在宅ケアなどに関する老年・在宅看護学分野の研究課題を取りあげ、研究支援を行う。フィールドワークを重ねた研究活動を重視し、現場の専門家および在宅療養者・家族と一緒に研究課題に取り組み、効果を共有できることを目指す。一連の研究過程において、自立して取り組むことのできる能力を養う。

領域	教 育 研究分野	教員氏名 職名	主 研 究 テ ー マ
看護学 領域	地域保健 看護学	牛尾裕子 教授 TEL 22-2827 E-mail: y_ushio@	コミュニティあるいは集団に焦点をあてた看護実践の方法の解明や開発に関する研究課題、公衆衛生看護の対象となる人々・コミュニティやそのニーズ、公衆衛生看護の実践者の質の確保向上に関わる研究課題等を指導する。学生が関心ある課題を切り口に、公衆衛生看護の重要概念や関係する理論を検討し、これを基盤に、公衆衛生看護学の発展に寄与する研究に自律的に取り組むことのできる能力を養う。
	老年生活 機能看護学	森崎直子 教授 TEL 22-2818 E-mail:	高齢者のQOL向上に関することをテーマとする。特に高齢者の口腔機能や嚥下機能の維持・向上、睡眠の質の向上に資する事項に関して、フィールドワークを行い、科学的に考究し、実践的かつ新規性、発展性のある研究成果を生み出していく。一連の研究活動を通して、看護学研究者としての自立性を養う。
生 体 情 報 検 査 学 領 域	病態情報 解析学	野島順三 教授 TEL 22-2824 E-mail: nojima-j@	抗リン脂質抗体症候群（APS）は、抗カルジオリピン抗体（aCL）やループスアンチコアグラント（LA）などに代表される抗リン脂質抗体（aPL）の出現と、それに伴う種々の血栓性病態を特徴とする自己免疫性血栓疾患である。本症候群に関連する合併症は、脳血管障害や虚血性心疾患などの動脈血栓塞栓症から、深部静脈血栓症や肺塞栓症などの静脈血栓塞栓症、さらには習慣性流産等婦人科疾患など極めて多彩であり、その発生機序の多くは未だ解明されていない。以下の課題において研究指導する。 (1) 日本抗リン脂質抗体標準化ワークショップのメンバーとして、日本におけるAPS検査診断法の標準化を目指すと共に、新たなELISAの開発を企業と共同で進める。 (2) 抗リン脂質抗体症候群の病態解明を目的とし、血小板活性化機構・生体内凝固制御機構・細胞表面組織因子発現機構・炎症性サイトカイン動態など抗リン脂質抗体の血栓形成機序および細胞障害機序を総合的に検討する。
	病態情報 解析学	西川 潤 教授 TEL 22-2835 E-mail: junnis@	1. 胃癌の病態解明と新規治療法の開発 胃癌は網羅的な分子生物学的な解析により、4つのグループに分かれる。その一つであるEpstein-Barr（EB）ウイルス感染により発生する胃癌の診断と病態解明について研究する。EBウイルス関連胃癌の病理組織学的所見、臨床像の検討、EBウイルス検出法の習得と病態に関わる分子生物学的検討を行い、結果に基づいた新規治療法の開発を行う。 2. 遠紫外線による殺菌効果の検討 遠紫外線は殺菌作用と持ちながら、人体への影響が少ないため、感染症の治療に利用できる可能性がある。胃癌に関連するヘリコバクターピロリ菌や大腸癌に関連する菌周病菌への殺菌効果を検討するとともにその機序を解明する。
	細胞情報 応用解析学	近藤智子 教授 TEL 22-2845 E-mail: tfuruya@	インターフェロン γ （IFN- γ ）はサイトカインの1種で種々の炎症反応、免疫反応の調節に寄与している。腫瘍免疫においてもその調節に寄与しており、さらに腫瘍細胞に直接抗腫瘍効果を示すことも報告されている。しかしそのメカニズムには不明な点も多く、細胞の種類によっても反応が異なっている。IFN- γ が腫瘍細胞に与える影響について、細胞増殖や細胞死に関連する遺伝子を中心に様々な腫瘍細胞におけるそれらの遺伝子発現や遺伝子産物の細胞内局在を解析し、IFN- γ の抗腫瘍効果の作用機序の解明を目指す。

領域	教 育 研究分野	教員氏名 職名	主 研 究 テ ー マ
生 体 情 報 検 査 学 領 域	生 体 情 報 検 査 学	柳井章江 准教授 TEL 22-2838 E-mail: akiey@	視床下部・辺縁系を中心に分布する新規構造体 stigmoid body (STB) の形態機能解析を行っている。STBは、正常脳内に豊富に存在しており、電子顕微鏡解析による超微形態は、アルツハイマー病やパーキンソン病でみられる病的な凝集体やアグレソームとは全く異なる。STBにはハンチントン病関連蛋白質HAP1が局在し、神経細胞保護作用を持つことを証明してきた。一方で、消化管などの末梢組織においてもSTBが存在することを明らかにし、疾患や癌との関係について研究を進めている。 1. STBが癌細胞における細胞増殖および細胞周期に与える影響 2. 末梢組織におけるSTBの細胞保護機構の解明 3. 中心体関連タンパク質と疾患との関わりについて
	病 態 情 報 解 析 学	山本 健 教授 TEL 22-2834 E-mail: keniyama@	心筋細胞は興奮収縮連関によるCa²⁺ハンドリングにより制御されている。心不全、不整脈などの病態においてこれらのCa²⁺ハンドリングがどのような異常を来しているか、様々な疾患モデルマウスを用いて、その単離心筋細胞のCa²⁺ハンドリングの評価を行うとともに、Ca²⁺制御を司る様々なCa²⁺関連蛋白質の細胞内分布を免疫染色などを用いて明らかにする。また心肥大にかかせないHDAC4のリン酸化の制御メカニズムとCa²⁺関連蛋白との関係も明らかにする。
	病 態 情 報 解 析 学	湯尻俊昭 教授 TEL 22-2837 E-mail: yujirit@	造血器悪性腫瘍の遺伝子解析 近年、造血器腫瘍（骨髄腫瘍やリンパ増殖性腫瘍）において分子生物学の進歩と共に、遺伝子異常の解明から分子標的治療につながる多くの研究が行われ、劇的な成果を挙げている。私たちは大学病院、関連病院、臨床検査部や企業との共同研究を行い、造血器腫瘍の遺伝子変異に関連する解析と診断法の開発を行ってきた。患者からの臨床検体からゲノムDNAを抽出し、DNAシーケンス、リアルタイムPCR、デジタルPCR等を用いて体細胞変異を解析し、臨床現場に役立つトランスレーショナルリサーチをすすめていきたい。
	病 態 情 報 解 析 学	奥田真一 教授 TEL 22-2807 E-mail: sokuda@	循環器系における超音波検査法は心臓・血管の形態・機能を評価するための検査法として臨床応用されているが、近年ではストレイン法など新たな手法による機能評価法が導入されている。多数の臨床例を通じて、ストレイン法等を用いた心房機能評価についての研究をすすめていく。
	生 体 情 報 検 査 学	山本美佐 准教授 TEL 22-2848 E-mail: yamamoms@	・腫瘍増殖環境における腫瘍細胞とマスト細胞の相互作用 近年、良性および悪性腫瘍増殖メカニズムにおいて、腫瘍細胞に対する間質組織や周辺から浸潤する炎症細胞の関与が強く示唆されるようになり、実験病理学、細胞生理学、分子生物学など多方面の分野で検索が試みられている。これら腫瘍細胞と間質組織や周辺の炎症細胞との関係についての検索は、癌などの悪性腫瘍の浸潤や転移のメカニズムや、炎症細胞、周辺組織上皮細胞や血管内皮細胞から放出される因子の長期暴露による腫瘍発生メカニズムの解析に繋がる重要な分野であると考えられる。当研究室では強力な炎症惹起物質を放出するマスト細胞（肥満細胞）の機能を解析することで、腫瘍増殖への影響について研究を行っている。具体的には、手術時に摘出した腫瘍や骨髄単核細胞、iPS細胞より細胞株を樹立し、これらを共培養する実験系においてさまざまな細胞間調節因子や細胞接着因子等の検索をウェスタン・ブロッティング法、real time PCR 法、免疫蛍光染色（共焦点レーザー顕微鏡）、電子顕微鏡等を用いて実施している。

領域	教 育 研究分野	教員氏名 職名	主 研 究 テ ー マ
生 体 情 報 検 査 学 領 域	病 態 情 報 解 析 学	末永弘美 講師 TEL 22-2133 E-mail: hiro1204@	1. 実務経験のある臨床検査技師の日常臨床から得られたリサーチクエスチョンに基づいて、独自性や有用性が高く、なおかつ臨床で働く実務者に実行可能な臨床研究を計画・実施する。 2. 周産期うつ病の早期診断法の確立：周産期うつ病の有病率は10～15%と言われ、妊産婦の自殺や児への虐待、児の身体的、心理的、社会的発育遅延の原因となる可能性も高いことから、早期診断、早期介入は重要な課題である。しかしながら、客観性が高く、陽性率も良好なスクリーニング法は確立されていない。今後、精度の高いスクリーニング法を確立するとともに周産期うつ病のリスク因子を探索する。 3. 各領域の超音波検査法を用いた新たな知見を探索する臨床研究を実施する。
	生 体 情 報 検 査 学	富永直臣 助教 TEL 22-2828 E-mail: ntominag@	臨床の場で出会う様々な疾患について、その病態を分子レベルから個体レベルまで理解することを目標に、疾患メカニズムの解明と治療法の開発に挑む。当研究室では主に癌や遺伝性疾患、老化に焦点を当てて研究を行う。 1. 細胞外小胞（エクソソーム）による細胞間コミュニケーションメカニズムの理解 エクソソームは細胞から分泌される100nm程度の脂質二重膜小胞で、内部には様々な物質が内包されている。近年の研究で、エクソソームを使って細胞同士が情報の伝達を行っていることが明らかとなってきた。本研究テーマでは、癌や骨格筋老化、時空間に着目し、エクソソームを中心とした細胞間コミュニケーションメカニズムが果たす、疾患発症メカニズム、生命現象の理解を目指す。 2. 革新的薬剤スクリーニング法と診断法の開発 膜タンパク質は、細胞外とのコミュニケーションだけでなく、細胞内機能にも重要な働きがある。これまでの研究で、膜タンパク質量が疾患発症に関与していることを明らかにしてきた。本テーマでは、膜タンパク質に注目し、ハイスループットスクリーニング法を開発する。さらに、治療薬の探索、及びハイスループットスクリーニング法のさらなる応用を行う。

○連絡先 （電話番号） 0 8 3 6 - □□ - □□□□
（メールアドレス） @以下に, yamaguchi-u.ac.jp

指導教員への 連絡状況	1. 連絡済 2. 未連絡 (○で囲む)	受 験 番 号	※
----------------	----------------------------	---------	---

2026（令和8）年4月入学
 山口大学大学院医学系研究科保健学専攻（博士後期課程）
 入 学 志 願 票

		チェック ☐ 進学者選抜試験志願者	
志 望 領 域 名		志 望 教 育 研 究 分 野 名	
フリガナ		男 ・ 女	志望する 指導教員 氏 名
氏 名			
生年月日	平成 年 月 日生（ 才） 昭和		
出願する選抜の区分		一 般 選 抜 ・ 社会人特別選抜 ・ 外国人留学生特別選抜	
社会人記入欄	教 育 方 法 の 特 例 希 望	有 ・ 無	
現 住 所	(〒) 携帯電話 () 電 話 () -		
合 格 通 知 等 連 絡 場 所 (現住所と同じ 場合は記入不要)	(〒) 携帯電話 ()		
出 願 資 格	平成 年 月 令和	大学院	研究科 修了・修了見込み

検 定 料 払 込 証 明 書 貼 付 欄	1. 検定料郵便振替払込受付証明書の裏面全部にのり付けしてください。 2. 必ず郵便局の受付窓口で振り込んでください。 3. 検定料郵便振替払込受付証明書に受付局日附印が押されていない場合は受理 できないので注意してください。 <u>(※注意：修士課程・博士前期課程から直接の進学として出願する場合は不要)</u>
---	---

- (注) 1. 記入の際は、学生募集要項を熟読の上、記入もれのないようにしてください。
 2. ※は、記入しないでください。
 3. 社会人記入欄については、該当する項目に○を付けてください。
 4. 学歴欄は、日本で教育を受けた者は高等学校卒業から記入してください。
 外国で教育を受けたことのある者は小学校入学から記入（別紙可）してください。
 5. 進学者選抜試験への志願者は、右上枠内の「進学者選抜試験志願者」にチェックを
 すること。(※検定料は不要です。払い込まないように注意してください。)

履 歷 書

[illegible]

後期

2026(令和8)年4月入学・進学
山口大学大学院医学系研究科
保健学専攻(博士後期課程)

写真票

1. 一般選抜 2. 社会人特別選抜 3. 外国人留学生特別選抜	
チェック ☐ 進学者選抜試験	
受験番号	※
ふりがな 氏名	
写真貼付欄 3か月以内に撮影 した上半身・無帽 ・正面向きのもの (4cm×3cm)	志望領域名
	志望教育研究分野名

(注) 1. ※印欄は, 記入しないこと。
2. 該当する項目に○印をすること。

切り離さないこと

キ

リ

ト

リ

2026(令和8)年4月入学・進学
山口大学大学院医学系研究科
保健学専攻(博士後期課程)

受験票

1. 一般選抜 2. 社会人特別選抜 3. 外国人留学生特別選抜	
チェック ☐ 進学者選抜試験	
受験番号	※
氏名	
志望 領域名	
志望 教育研究 分野名	

(注) 1. ※印欄は, 記入しないこと。
2. 該当する項目に○印をすること。

受 験 承 諾 書

氏 名

生年月日 平成・昭和 年 月 日生

上記の者が、2026（令和8）年4月入学山口大学大学院医学系研究科保健学専攻（博士後期課程）の入学試験を受験することを承諾します。

また、当該入学試験に合格し、貴大学大学院医学系研究科に入学した場合には、在職のまま就学することを承諾します。

令和 年 月 日

山口大学大学院医学系研究科長 殿

所 在 地

所属機関名

所 属 長 名

⑩

修士論文の概要・研究経過報告書

氏 名		志 望 領 域 名		受験	※
		志望教育研究分野名		番号	
修士論文題目					

(注) 1. 修士修了者は、修士論文の概要を、また、修士修了見込みの者は研究経過報告書を本様式に1,000字（英語の場合は300words）程度で具体的、かつ簡明に記入してください。

なお、その際に必要に応じて図、表、式等を用いてください。パソコンを使用する場合は、本様式に直接印刷又は本様式（A 4 判）にならない作成してください。

2. ※印欄は記入しないでください。

3. 出願資格6又は7に認定された者は、提出する必要はありません。

研究業績調書（その1）

[illegible]

- (注) 1. 出願資格 6 又は 7 で申請する者は、修士論文題目欄は記入する必要がありません。
2. 修士の学位を 2026（令和 8）年 3 月末までに取得見込みの者は提出する必要がありません。
3. ※印欄は記入しないでください。
4. パソコンを使用する場合は本様式に直接印刷又は本様式（A 4 判）にならない作成してください。

研 究 業 績 調 書（その2）

氏 名		志 望 領 域 名			受験 番号	※
		志望教育研究分野名				
学術論文，著書，学会発表・報告，特許等の名称		発行又は発表の 年 月 日		発行所，発表雑誌又は 発表学会等の名称		備 考（共 著 者 名 又は共同発表者名）

- （注） 1．年代順に記載してください。なお，パソコンを使用する場合は，本様式に直接印刷又は本様式（A 4 判）にならい作成してください。
- 2．※印欄は記入しないでください。
- 3．研究業績がない場合は，業績記入の箇所に「研究業績無し」と記入してください。

研究（希望）計画書

氏 名		志 願 領 域 名		受験 番号	※
		志望教育研究分野名			
研究(希望)課題					
研究(希望)計画の概要					

(注) 1. 本様式に700字（英語の場合は200words）程度で具体的に、かつ簡明に作成してください。なお、パソコンを使用する場合は、本様式に直接印刷又は本様式（A4判）にならない作成してください。

2. ※印欄は記入しないでください。

2026（令和8）年4月入学
山口大学大学院医学系研究科保健学専攻（博士後期課程）

出願資格認定申請書

山口大学大学院医学系研究科長 殿

所定の書類を添付のうえ、標記出願資格の認定を申請します。

氏名			志望領域名				
			志望教育研究分野名				
生年月日	平成 昭和	年	月	日（才）	現住所	〒 携帯電話（	）
出願資格		☐ 出願資格6 ☐ 出願資格7					
学歴							
年		月		日		事項	
職歴（研究・開発等の業務内容がわかるように詳しく記入してください。）							
年		月		日		事項	
学会及び社会における活動状況							
年		月		日		事項	

（注）1. パソコンを使用する場合は、本様式に直接印刷又は本様式（A4判）にならい作成してください。
2. 出願を希望する選抜方法及び認定を希望する出願資格の□に✓を付けてください。
3. 「研究業績調書」及び学術論文等を添付してください。

払 込 取 扱 票

00		広 島																		
口座記号番号												金額	千	百	十	万	千	百	十	円
0	1	3	2	0	1			4	0	7	0		4				3	0	0	0
加入者名		国立大学法人山口大学												料			備			
														金			考			

通 信 欄	※																		
		フリガナ 氏 名 _____																	
		山口大学大学院医学系研究科保健学専攻（博士後期課程）																	

ご依頼人	※	おところ（郵便番号） _____																	
		おなまえ _____																	
		_____（電話番号 - - ） _____ 様																	

裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）（承認番号 広第4902号）
 これより下部には何も記入しないでください。

切り取らないで出してください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 1 3 2 0 1												
	4 0 7 0 4												
	国立大学法人山口大学												
加入者名	国立大学法人山口大学												
金額	千	百	十	万	千	百	十	円					
				3	0	0	0	0					
ご依頼人	おなまえ ※ _____ 様												
料 金	(消費税込み)		日 附 印										
	円												
備考													

この受領証は、大切に保管してください。

振替払込受付証明書(お客さま用)

(ご依頼人⇒郵便局・ゆうちょ銀行⇒ご依頼人)

口座記号番号	01320—1—40704												
加入者名	国立大学法人山口大学												
払込金額	千	百	十	万	千	百	十	円					
				3	0	0	0	0					
ご依頼人住所氏名	※ _____												
								日 附 印					

(承認番号 広証第4902号)

(ご注意)

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きＡＴＭでもご利用いただけます。

・この払込書をゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。

・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。

・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

課税相当額以上

貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

あ て 名 票

合格通知を受け取る際の郵便番号、住所、氏名を記入してください。

団地・アパート等に居住している者は、棟番号、戸番を入れ、間借りをしている者は、「〇〇様方」と詳しく記入してください。

なお、出願後住所を変更した場合は、速やかに届け出てください。

※印欄は、記入しないでください。

--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--

(志願者の氏名)

--

受
験
票
在
中

様
方

様

(志願者の氏名)

--

〈切り離さないこと〉

合
格
通
知
在
中

様
方

様

(志願者の氏名)

--

〈切り離さないこと〉

入
学
手
続
書
類
在
中

様
方

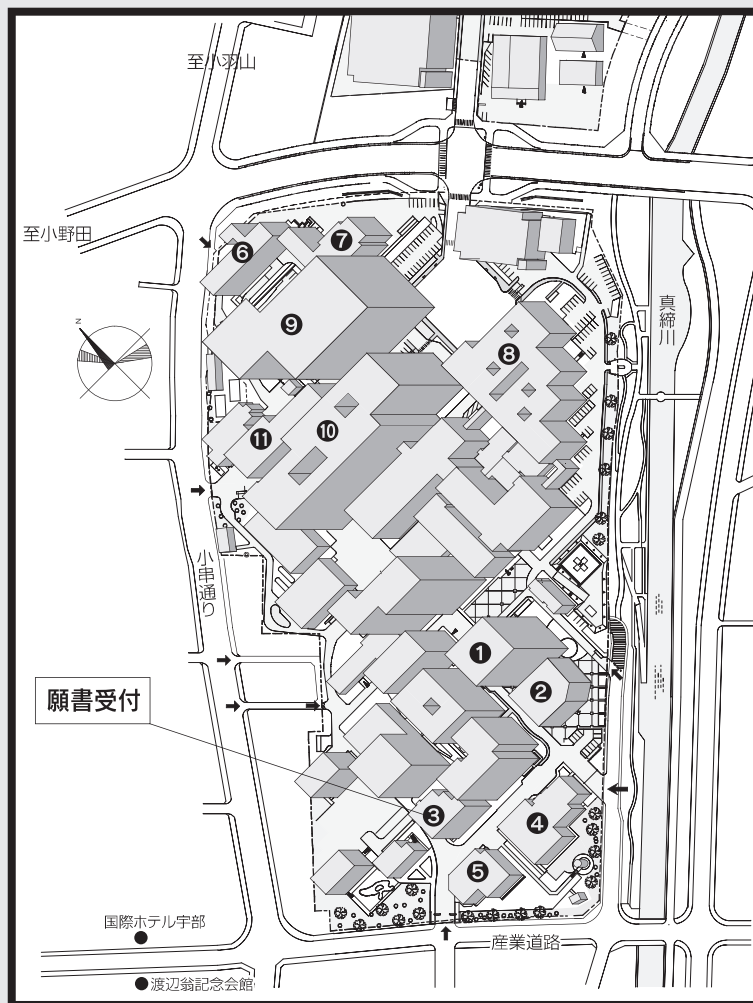
様

受験 番号	※
----------	---

受験 番号	※
----------	---

受験 番号	※
----------	---

- ❶ 医明館（総合研究棟B）
- ❷ 医修館（総合研究棟A）
- ❸ 実習棟A（医学部学務課）
- ❹ 医学部図書館
- ❺ 福利厚生施設（医心館）
- ❻ 保健学科研究棟
- ❼ 保健学科第2研究棟
- ❽ 外来診療棟
- ❾ A棟（新病棟）
- ❿ 第一病棟
- ⓫ 第二病棟



山口大学医学部保健学科・
大学院医学系研究科保健学専攻

交通

J R山陽本線新山口駅または宇部駅から
J R宇部線宇部新川駅下車、徒歩15分

宇部中央バス停下車、徒歩15分

この募集要項についてのお問い合わせ

山口大学医学部学務課 保健学科教務係

tel 0836-22-2058 mail me238@yamaguchi-u.ac.jp

※各項目に問い合わせ先がある場合は担当窓口へお願いします